

## 社会との共生

J-POWERグループは発電事業や送電事業など、大規模な設備を建設して長期にわたって維持・運営する事業を中心に営んでいることから、事業活動に関係する人や社会と良い関係を築き、互いを必要としあえる存在でありたいと考えています。

### 人権の尊重

あらゆる事業活動を進めるにあたって、事業活動に関係するステークホルダーの人権を尊重することは、企業としての当然の責務と認識しています。

1948年の国連総会で採択された世界人権宣言では、さまざまな態様の人権が規定されるとともに、すべての人間はそのすべての人権を享受できると宣言されています。

J-POWER「コンプライアンス行動指針」では従業員を含む

すべての人々の人権が尊重される旨を定めており、人権侵害の恐れがある場合はコンプライアンス相談窓口\*に相談が可能です。また、従業員向けの研修プログラムに人権研修を組み込んでいるほか、現地機関のニーズに応じた人権研修も実施しています。

J-POWERグループでは、世界人権宣言を尊重し、今後もステークホルダーの人権の保護、尊重に努めていきます。

\* コンプライアンス相談窓口:p.60を参照ください。

### ボランティア活動の支援

従業員によるボランティア活動を支援するため、ボランティア休暇制度をはじめ、従業員がボランティア活動を行う環境を整備しています。

#### J-POWERグループ社会貢献活動の考え方 (2009年4月1日制定)

私たちJ-POWERグループは、「環境との調和をはかり、地域の信頼に生きる」「利益を成長の源泉とし、その成果を社会と共に分かち合う」との企業理念の下、社会の一員として、社会の健全な発展、持続可能な発展を願い、息長く社会貢献活動に取り組みます。

私たちは、次のふたつを主たる活動テーマに、地域の皆さま、エネルギーと環境の共生をめざす様々な人々と話し合い、互いに知恵を出し学びあうことを大切にして、着実に活動に取り組むとともに、社員が取り組むボランティア活動を支援します。

##### 「地域・社会とともに」

私たちの企業活動は、発電所などの地域の人々によって支えられています。社員一人ひとりがそれぞれの地域において良き住民であるように、各地の事業所もまた「良き企業市民」として地域・社会に役立つ存在でありたいと思います。地域の人々から信頼され、親しまれる活動を通じて、地域とともに生き、社会とともに成長することをめざします。

##### 「エネルギーと環境の共生をめざして」

人々が心豊かに暮らしていくためには、暮らしを支えるエネルギーとよりよい環境が両方とも必要です。これまでの事業活動を通じて培ってきた環境に関する知見を活かして、エネルギーと環境の共生をめざす様々な人々と協働し、エネルギーと環境を大切にする心と技術を育てる活動を通じて、日本と世界の持続可能な発展に貢献します。



## 社会貢献活動

J-POWERグループは、「J-POWERグループ社会貢献活動の考え方\*」に基づき、良き企業市民として文化・芸術活動の支援、地域社会への協力、ボランティア活動への参加支援、国際社会への貢献などの社会貢献活動に積極的に参加し、社会の発展に寄与しています。

\* J-POWERグループ社会貢献活動の考え方：p.52を参照ください。

### 社会貢献活動実績

2019年度の社会貢献活動として、次のようなプログラムをはじめ、さまざまな取り組みを実施しました。

プログラム	概要	対象	協働団体	参加人数など
<b>エコ×エネ体験ツアー</b> 	<p>J-POWERは、エネルギーと環境の共生を目指して、体験しながらエコとエネのつながりについて学ぶエコ×エネ体験ツアーを開催しています。</p> <p>水力編は、岐阜県の御母衣、新潟県・福島県の奥只見発電所を舞台に小学生親子ツアー、学生ツアー、小・中学校の先生ツアーを、火力編は神奈川県の大磯火力発電所を舞台に学生ツアーを行いました。</p> <p>このうち奥只見ツアーでは、グループ会社・奥只見観光(株)が運営する青少年等向け教育・宿泊施設「緑の学園」や「奥只見湖遊覧船」を利用して、奥只見湖や周辺のブナ林の雄大な大自然の中で、見て、触れて、考えて、楽しめる体験型の学びの場を提供しています。</p>	<p>【親子編】 小学4～6年生の親子</p> <p>【学生編】 高専・大学・大学院生</p> <p>【教師編】 小・中学校の先生</p>	<p>キープ協会、トヨタ白川郷自然学校、高倉環境研究所、(株)ジェイベック*、奥只見観光(株)、リポーン</p>	<p>【親子編】 親子ペア63組(126名)</p> <p>【学生編】 高専・大学・大学院生(水力編33名、火力編26名)</p> <p>【教師編】 30名</p>
<b>奈半利 馬路村「山師達人選手権大会」(高知県)</b> 	<p>J-POWERグループの全国の発電所・送電線事務所等では、さまざまな地域との交流、共生活動を行っています。</p> <p>高知県の魚梁瀬ダム湖畔では、地元の林業関係者たちがその腕を競う「山師達人選手権大会」に参加し、地域の皆さんとの交流を図っています。</p>	<p>地元馬路村をはじめ高知県の林業関係者、林業大学校、村役場、地元企業等</p>	<p>馬路村役場、馬路村林業青年クラブ</p>	<p>約150名</p>

\* 2020年8月1日に社名を「J-POWERジェネレーションサービス(株)」に変更しています。

## セントラルジャワプロジェクトにおける社会貢献活動

現在インドネシア共和国において推進しているセントラルジャワプロジェクトでは、環境親和型高効率発電のモデルケースとなる石炭火力発電所(200万kW)を建設しています。本プロジェクトの影響を受ける立地地域の皆様が自立して持続的に発展できるよう、J-POWERグループは事業会社であるBhimasena Power Indonesia 社(BPI社)を通

じ、さまざまな支援活動を展開しています。活動内容の選定・実施にあたり地域の皆様や関係自治体から寄せられたニーズに従って進めた結果、BPI社は優れた活動を行う企業としてインドネシア国内外で数々の賞を受賞してきました。



3G Awardを受賞する小出CEO(当社出向社員)

### 活動事例

経済活動支援	住民グループによる小規模事業(ランドリー、縫製など)と地域のマイクロファイナンス事業の支援(機材提供、トレーニングなど) 2019年までに累計199グループ、2,849人への支援を実施
医療支援	村の診療所に乳幼児、老人向けのサプリメント提供、メディカルキット提供、医療ボランティアのトレーニング
教育支援	インドネシア政府の環境教育プログラム支援、地方政府とココ・コーラ基金と提携して、村落図書館の整備支援等
インフラ整備	公衆トイレの整備、モスクの修繕、診療所の整備、道路の修復など 2019年までに335件の整備を実施
社会文化・環境支援	廃品回収活動、パタン赤十字と協力して海岸地域の植林、マングローブの再整備支援、漁礁ブロック投入による人工漁礁の設置、町の清掃活動など

### 主な受賞歴

- Global Good Governance (3G) Award for category Environmental Responsibility 2019
- Indonesia Green Award (IGA) for category Coastal Ecosystem Restoration 2019
- AREA (Asia Responsible Entrepreneurship) Awards for category Health Promotion 2018
- TOP CSR Improvement 2017
- TOP Leader on CSR Commitment 2017 for Takashi Irie\*
- Special Award as The Best Environmental Concerned Company on Indonesia Best Electricity Award (IBEA) 2016

\* BPI社CEO、J-POWERからの出向者(当時)